

議案	付託 委員会	本会議 の結果	市 政 II	市 フ 8	公 明 5	共 産 3	生 ネ 3
----	-----------	------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------

★ 主な議案（他に、道路認定 2 件、契約 1 件、特別会計決算の認定 8 件）

府中市基本構想の一部改訂について	総務	可決	○	○	○	○	○
政治倫理の確立のための府中市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例	総務	可決	○	○	○	○	○
府中市市税条例の一部を改正する条例	総務	可決	○	○	○	○	○
府中市議会議員及び府中市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	総務	可決	○	○	○	○	○
災害による被災者に対する住宅の建設及び補修資金貸付条例の一部を改正する条例	即欠	可決	○	○	○	○	○
平成 19 年度府中市一般会計補正予算(第 1 号)	予算特別	可決	○	○	○	○	○
平成 19 年度府中市老人保健医療特別会計補正予算(第 1 号)	厚生経済	可決	○	○	○	×	○
平成 19 年度府中市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)	厚生経済	可決	○	○	○	○	○
平成 19 年度府中市競走事業特別会計補正予算(第 1 号)	総務	可決	○	○	○	○	○
平成 18 年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定	○	○	○	×	×

★ 主な陳情・請願（他に陳情 5 件）

市議会本会議でのインターネット動画配信を求める陳情 ※1	総務	継続	△	○	△	○	○
朝日町 1 丁目地内大規模開発予定地沿道での歩道設置に関する陳情	建設環境	継続	×	△	△	△	△
ごみ収集システムの検討にあたり、十分な市民参加を求める陳情	建設環境	継続	△	△	△	△	△

※1 3月に審議未了廃案となった陳情と同趣旨のもの。今回もまた**自民・公明**が「継続」を主張し、棚上げ状態になりました。理由は、前回の
 ①発言をしない議員にとって不公平になる
 ②年間 30 日ほどの本会議のために必要ないのではないか
 ③市が情報公開をやっているから、議会は急ぐことはない
 に加えて、「インターネットがそれほど普及しているという訳ではない」というもの。

全員協議会

府中市のごみ処理の状況等について	全協	聞きおく
------------------	----	------

6月に引き続き「了承」とはなりませんでしたが、ただし今回は、公明党と他に 1 人の議員が市長の方針を支持する意見を述べました。

フリーダムネット

No.26 2007.10

< 9 月議会報告① >

府中のごみは調布の 1.4 倍？ 1.25 倍ではないですか。

7月21日の『広報ふちゅう』に載せられた数字、「府中のごみ量は調布の 1.4 倍」が実は「1.25 倍」だったということを今議会の一般質問で明らかにしました。市が意図的にしたことかどうかはわかりませんが、市民に誤解をあたえたことは確かです。また市がこれまで説明してきたことの根拠が崩れます。

調布の「1.4 倍」、つまり「府中はごみが 4 割多い」、その半分が市外からの不法投棄だろう、として「不法投棄が 2 害ある」「不法投棄をなくすにはごみ箱を撤去しなければならない」と市は説明してきました。「1.4」が「1.25」だとすれば、当然話は変わってくるはずですが、市の説明に変化は見られません。

他の議員の質問からも、様々な論点が浮きぼりになりましたが、これに対して、市は従来からの説明を非論理的に繰り返すばかりです。賛成派議員も論点には目をつぶり、あくまでも賛成を主張しました。論点があれば一つ一つ潰していき、次の段階に進むのが論理的な議論というのですが、「ごみ問題」についてはなかなか論理的な議論になりません。

市長は、まともな議論を避け、粘って、来年 1 月の市長選で再選されればけりがつくと考えているのかもしれませんが。私は、議会で真摯に議論を尽くすことが正当だと思いますが、議会での議論が成立しないのであれば、最終的には選挙で議論を戦わせるしかないということになります。

府中市議会議員・府中の元氣

杉村康之



ご意見ご声援をよろしくお願ひします！

TEL ◆ 042-335-0097 / FAX ◆ 042-361-9856

Email ◆ sugimura@sea.sannet.ne.jp

URL ◆ http://www.fuchu21.gn.to

郵便振替 ◆ 00150-1-102251 (フリーダムネット)

銀行口座 ◆ みずほ銀行府中支店 貯 4572242



駐輪場はなぜ 2000 円か？ 9/4 一般質問より

杉村 今まで無料だった駐輪場に、新たに施設が建設され、月に 2000 円ほど料金がかかるようになるケースが続いている。受益者負担の原則から有料にすべきと思うが、月 2000 円はかからないと思う。2000 円の設定根拠は？

環境安全部長 料金は、(財)自転車駐車場整備センターが本市と協議して定めた。2000 円については、他自治体やセンターの先行事例を参考にした。この額は、ワンコインの手軽さも考慮して一時利用が 100 円とされ、これをもとに割引に配慮して定期料金を決めたものと伺っている。

杉村 ここには、市としていくりにすべきか、という考えが盛り込まれていない。次に、無料駐輪場の 1 台あたりの経費は？

環境安全部長 1 台あたり 14.3 円となる。

杉村 14.3 円なら月額 300 円弱ですむのに、実際は 100 円、2000 円とっている。仕組みがおかしいのではないか。センターとはどんな取り決めか？

環境安全部長 設置費用はセンターが負担し、一定期間所有した後、協議を経て、無償で市に譲渡することを協定で定めている。

杉村 既に「一定期間」を過ぎた所、3 年以内に過ぎる所が何ヶ所あるか？

環境安全部長 過ぎた所が 11 ヶ所。過ぎた所が 6 ヶ所。

杉村 「一定期間」が過ぎても譲渡されていないとすれば、それはなぜか？

環境安全部長 期間を延長し再締結した。施設の経営に相当な累積赤字があり、黒字の施設のみ譲渡を受ければ赤字施設の経営をより圧迫するから。

杉村 協定の延長を 2 回もしている。センターの杜撰な経営があり、借金が減らず、そのために 14.3 円ですむところを 100 円払っている。市民が払っている。そのことをよく考えて抜本的に見直すよう、願います。

天下り外郭団体に任された駐輪場

(財)自転車駐車場整備センターの役員には、国交省 OB の名がズラッと並びます。今のままでは、トータルで赤字が残る限り、黒字の駐輪場も安くなりません。

高速道路がいつになっても無料にならないのと同じくみです。

- ①黒字の駐輪場はセンターから譲渡してもらおう
- ②今後新しく駐輪場をつくる場合はセンターに頼まない
- ③今の状況を市民に説明すること、を市に対して要望しました。



ごみ箱撤去の前に他にできることはないか

杉村 ごみ箱へのカギの取り付けについては、できるできないではなく、やるべきかどうかを聞きたい。やるとなれば、できるできないではなく、どうやったらやれるかを考えるべき。カギをつければ常識で考えて不法投棄は減る。減るならやるべきと思う。減るか減らないか、市はどう考えるか？

環境安全部長 若干の減少は見られると思う。しかし、50%削減の目標に一步でも近づくことが適切、妥当。従って、効果面からきわめて難しい。

杉村 ごみ箱を維持しながらの有料化でも、市民の6、7割はルールを守るだろう。少なくともルールを守っている人は努力するからごみは減るだろう。減るか減らないかについて認識を聞きたい。

環境安全部長 50%削減を前提にしている。確かに効果はあるかもしれないが、(ごみ箱があると)大きな効果は期待できない。

杉村 50%という目標は尊重すべきだが、一方で80%の人がごみ箱を支持している。短期的には30、40%減らせれば十分ではないか。ごみ箱撤去の結論を急いで出す前に、他の方法を検討するべきだとあらためて思った。

杉村 広報ふちゅうに府中のごみ量が調布のごみ量の1.4倍とあった。しかし、調べてみると、調布の数字にはプラスチックが含まれておらず、府中の数字にはプラスチック(6000ト)が含まれている。この分を除いて考えると1.25倍となる。市民に大きな誤解を与えたのではないか？

環境安全部長 東京市町村自治調査会のごみ実態調査のデータを活用した。

杉村 そのデータは知っている。調査会にそれぞれ報告している数字の中にそもそも、調布はプラスチックを含まず、府中は含んでいるのが実態だ。

「みんなが主役」というけれど…

「カギの取り付けは？」と聞けば、不便になるから難しいという。「有料化を先行すれば」と聞けば、ルールが守られないという。しかし、減るのか減らないのかと問えば、減るといふ。ただし、若干だとか、大きな効果は期待できないとかいふ。なぜ若干なのか、なぜ期待できないのか、根拠は示されない。突き詰めると50%ごみ減量の目標を達成しなければならないということらしい。その数字はごみ箱を支持する9割(17年度市民世論調査)の市民の意向を無視できるほどのものか。私たちは50%という数字のために、「ごみ箱」を失わなければならないのか。1.4という数字が実は1.25だった。市の説明はその場しのぎの感が強い。「ごみ」は市民の大問題。論理的な説明と市民の十分な納得を得るやり方を求めてまいります。